

**背景** 多くの健保組合ではがん検診を提供しているが、その内容や提供方法は組合間で異なり多様である。近年、保険者機能の総合評価項目にがん精検受診率の把握が加わるなど、健保組合に対してがん検診の精度管理が求められつつあるが、精度管理指標を算出できている健保組合はごくわずかであり、精度管理指標の算出体制も整っていないのが現状である。一方で、過年度の共同事業で精度管理指標のうち精検受診率の算出を実現し、保険者により精検受診率の推計が可能であることが明らかになった。

**目的** 本事業は、過年度の共同事業の成果を活用し、**がん検診精度管理指標算出の標準的なプロセス構築と自動化**を行い、健保組合共通の枠組みとしてコンソーシアム参加組合の業務に組み込み試験運用することを目的とする。本事業により、健保組合ではこれまで実現が困難であったがん検診精度管理が日常業務の一環として可能になり、保険者の機能強化と健康経営の実現に寄与できる。なお、本事業対象のがん検診は、胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がんの5大がん検診とする。

**職域がん検診の課題** (厚労省がん疾病対策課資料より抜粋)

- がん検診受診者の半数近くが職域で受診しているが、その実態は明らかでない
- 保険者には職域がん検診の実施義務がないため任意で実施されており、対象となるがん種、検査項目、対象年齢、検診実施間隔などの基準が示されていない
- 保険者や事業主ががん検診結果を把握するための統一的な仕組みがなく、検診受診率、精検受診率の算出など精度管理が十分にできていない。

**事業実施項目**

- (1) 健保組合におけるがん検診精度管理指標算出の標準的プロセスの検討
- (2) がん検診精度管理指標算出システムのロジック開発と工程表の作成
- (3) コンソーシアム参加組合におけるがん検診精度管理指標算出の標準工程の把握と自動化
- (4) がん検診精度管理指標算出システムの汎用化・自動化プログラムの試験運用と評価

**本事業の特徴**

- ✓ 本事業により、レセプトを活用することで、健保組合では困難であった各種のがん検診精度管理指標算出を、健保組合の通常業務の一環として実施可能な枠組みを構築する。
- ✓ がん検診制度管理指標の算出において、どの健保組合でも導入可能な汎用性の高いシステムの構築と実用化を可能とする

**期待される成果**

- ✓ 健保組合では困難であったがん検診精度管理指標算出が容易に可能となり、がん関連の健康課題を是正と保険者機能の強化に寄与できる
- ✓ がん検診精度管理の標準的で汎用性の高いプロセス構築により、コンソーシアム参加組合のみならず、幅広い健保組合で導入が見込まれる
- ✓ 健保組合における包括的ながん検診精度管理の実用化が可能であり、保険者機能の強化につながるうえ、がん早期発見・早期治療を実現することで、がん関連の健康課題を是正し、健康経営の実現に貢献する

**実施体制**

- 本事業は、事業運営委員会を組織して実施する。委員会事務局は代表組合とする
- 健保組合: がん検診精度管理指標算出に必要なデータ取得の現状と課題について検討し、がん検診精度管理指標算出システムと工程表の構築、試験運用を行う
  - 研究機関: がん検診精度管理指標算出のアルゴリズム開発と事業の全体アドバイスをを行う
  - システム開発会社: 汎用的ながん検診精度管理指標算出システムを開発する

**事業評価指標**

- **アウトプット指標:** がん検診精度管理指標算出の標準的プロセスの構築と阻害要因の抽出、システム開発、工程表作成、適切ながん検診判定結果の入手
- **短期・アウトカム指標:** がん検診精度管理指標算出
- **中長期・アウトカム指標:** がん検診精度管理指標の向上、がん早期発見・早期治療の実現、がんによる休職・退職の減少、がん医療費の削減

**事業スケジュール**

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1)アルゴリズム開発	←→									
(2)がん検診精度管理指標のロジック開発			←→							
(3)がん検診精度管理指標算出の標準工程の把握と自動化			←→							
(4)自動化プログラムの試験運用と評価							←→			
事業運営委員会開催										
事業評価と報告書作成								←→		

## 健保組合におけるがん検診精度管理算出の実用化に向けた共同事業

### (1) 健保組合におけるがん検診精度管理指標算出の標準的プロセスの検討

- 健保組合における5大がん検診それぞれの精度管理指標算出に向け、要精検者、がん患者、精検受診有無の把握と算出手法の検討を行い、健保組合におけるがん検診精度管理の標準的プロセスについて検討する
- 基幹システムの違いやがん検診判定結果の健保組合への提供のあり方など、標準的プロセス構築の阻害要因について取りまとめ、解決策について検討する

	指標概要	算出に必要なデータ
精検受診率	要精検者のうち精検受診の割合	要精検者、精検受診有無
要精検率	検診受診者のうち要精検者の割合	検診受診者、要精検者
がん発見率	検診受診者のうちがん発見者の割合	検診受診者、がん患者
陽性反応の中度	要精検者のうちがん発見者の割合	要精検者、がん患者
感度・特異度	真陽性、偽陽性、偽陰性、真陰性の把握	検診受診者、要精検者、がん患者

### (2) がん検診精度管理指標算出システムの開発

- 過年度共同事業で構築した精検受診率算出システムと、既存研究で構築したレセプトからのがん患者抽出アルゴリズムを応用し、5大がん検診の各種精度管理指標算出のアルゴリズムを、健保組合内に設置したPCとSPSSを用いて以下の手順で開発する

がん検診判定結果より要精検者を定期的に把握する  
レセプトの傷病コードと診療行為コードを組み合わせるがん精密検査抽出用コード及びがん患者抽出ロジックを作成する

#### ● 胃がん精密検査の抽出コード例

- 傷病コード: C160 ~ C169 など
- 診療行為コード: 160093810, 160062310 など

抽出したがん患者及びがん精密検査受診情報と、がん検診情報を組み合わせ、がん検診によるがん精密検査受診及びがん検診によるがん治療開始患者を推定する

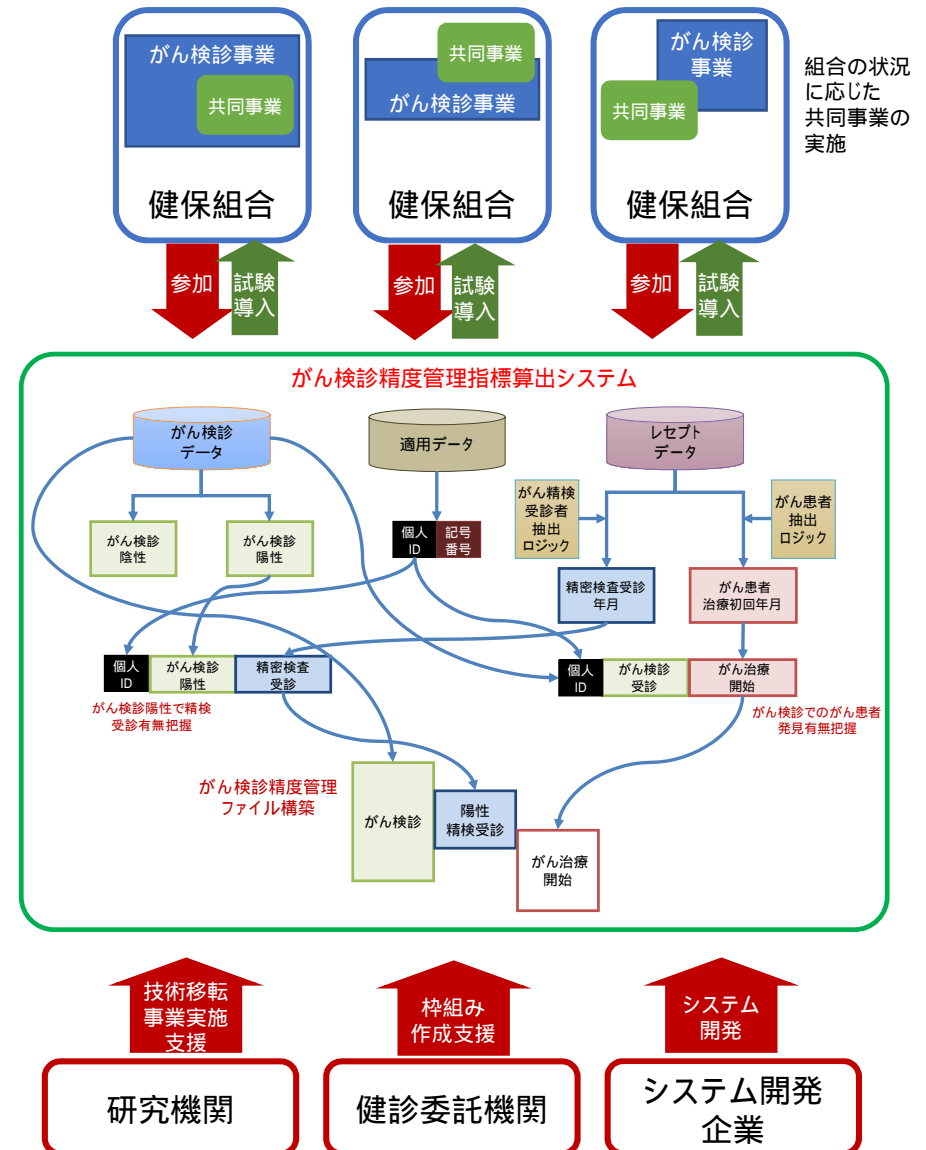
がん精度管理指標を試算する

- 開発したアルゴリズムをもとに、多様な健保組合の環境で稼働可能な汎用的プログラム「がん検診精度管理指標算出システム」を開発する
- がん検診精度管理指標算出システムを組み入れた健保組合共通の工程を検討し、標準的な工程表として取りまとめる

### (3) コンソーシアム参加組合における標準的プロセスによる精度管理指標算出の試行と自動化プログラム構築

- がん検診精度管理指標算出システムと工程表をコンソーシアム参加健保組合で試験運用し、継続利用が可能で汎用性が高く実用的な枠組みとして完成させる
- 精度管理指標算出アルゴリズムの自動化を実現し、健保組合環境での運用を試行する

## がん検診精度管理共同事業 コンソーシアム



組合の状況に応じた共同事業の実施